

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

のんびり散策やウォーキングはいかが
～上市の「新池」～

上市の山の裾野一帯には、ため池群があります。その中でも一番大きい「新池」は貯水量13万3千立方メートル、昭和47年のミュンヘン五輪で水泳100メートル平泳ぎの金メダリストとなった田口信教氏が、中学時代に練習をした場所としても知られています。

新池の築造については明らかではありませんが、江戸時



代中期の古文書には既に「新池」の名が記されています。何度かの改修工事の後、平成10年に国道前平野農業水利事業の水源調整池拡張工事が行われることとなり、それに先立ち実施された新池周辺の発掘調査では、銅鏡・祭祀土器・植物の種子などが多数出土しました。

その工事とともに池の周りに約1キロメートルの遊歩道や小さな公園が整備され、また池の北西部には約40本の桜の木が植えられ花見の新名所となりました。海拔50メートルの小高い堰堤からは瀬戸内海を望むことができ、季節を感じながらの散策やウォーキングには最適な環境が整っています。さらに、すぐ近くの山の中腹にある観念寺（延応2(1240)年建立）の本堂や山門の瓦を仰ぐこともでき、今では市民の憩いの場となっています。

古くて新しい「新池」。初夏の一日、ご家族で訪れてはいかがでしょう。

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

国の仕事やサービスに困り事はありますか？
～ご利用ください「行政相談」～

皆さんは、行政相談についてご存じですか。

総務省の行政相談は、国の仕事などについて皆さんがお困りのことや苦情、ご意見、ご要望をお聴きし、皆さんと関係行政機関の間に立って公正・中立の立場からその問題の解決や実現を促進するとともに、皆さんの声を行政の制度や運営の改善に反映させるものです。

ここでいう国の仕事とは、国や独立行政法人・特殊法人の仕事や、都道府県・市区町村の仕事のうち法定受託事務（本来、国が直接実施すべきであるが、国民の利便性などの観点から、法令により地方公共団体に委託された事務）に該当するもの、国の補助を受けて行っているものを指します。



行政相談委員は、このような国の仕事などに対する相談相手として、行政に関する苦情や意見、要望を受け付け、助言や関係行政機関に対する通知などを行っています。

また、行政相談委員とは、総務大臣から委嘱された民間有識者（ボランティア）で、西条市には5名が配置されており、丹原総合支所管内では佐伯正昭氏（丹原町高松）が皆さんのご相談に応じています。（他地区は27ページ参照）

丹原総合支所管内の行政相談は、原則として毎月第二火曜日の午前9時から正午までは丹原福祉センターで、また毎月第四火曜日の午前9時から正午までは徳田・田野・中川・桜樹の4公民館を月ごとに巡回して実施しています。詳しくは、本紙の定期無料相談のページをご覧ください。

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

手づくりの食文化を次世代に
～生活研究グループ「小松椿会」～

最近では自宅でみそや漬物を作る家庭が少なくなってきました。

そうした中、手づくりの良さを次世代に伝えるため、地域でとれた食材を使い、みそや旬の野菜の漬物・梅干し・みかん石鰯づくりなどの活動を行っているのが「小松椿会（竹村延子会長・8名）」です。「無添加で安全安心を家庭に届ける」を合言葉に、これまでの経験を活かしてアイデアを出し合いながら、毎週水曜日の午前中、小松まちづくり開発センターで和やかな楽しい時間を過ごしています。

作った物の一部は、石鎚山ハイウェイオアシス館「おあしす市場」でどれも100円で販売しています。その評判は口コミで広まり、地域の多くの方に喜ばれています。

取材にお邪魔した日には、皆さんで9キロものきゅうりを手際よくからし漬けに加工していました。この記事が掲載される6月は、梅漬けの作業で大忙しだそうです。

「私たちの活動が手づくりの食文化の継承や、地元産品の消費拡大につながればと考えています」と竹村会長。地域の児童・保護者を対象とした料理教室の開催や、産業文化フェスティバル・文化祭などのさまざまなイベントにも積極的に参加しています。どこかで私たちの活動を見かけたら、ぜひ一声お掛けください。



地元でとれた新鮮なきゅうりが
艶々のからし漬けに